

一般社団法人日本保健物理学会
第 28 回臨時理事会議事録

2023 年 8 月 15 日、杉浦紳之会長が、理事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について下記の内容の提案書を、また、監事の全員に対して当該提案に対する異議の有無の確認依頼書を発したところ、当該提案につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を得るとともに、監事の全員から書面により異議を述べない旨の回答を得た。

これにより、定款 39 条に基づく理事会の決議の省略により当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

記

1 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第 1 号議案 若手研究会運営規則変更の件

第 2 号議案 臨時理事会の招集の件

2 議案の概要

第 1 号議案

若手研究会運営規則第 2 条第 1 項を下記の通り変更する。

(現行)

若手研究会員は、日本保健物理学会に属する年齢が 40 歳以下の者とし、その自主的な意志によって自由に入退会する。満 41 歳を迎えた年度末をもって自動的に退会する。

(改定案)

若手研究会員は、日本保健物理学会に属する年齢が 40 歳以下の者とし、その自主的な意志によって自由に入退会する。学会の入会申し込み時に若手研への入会について意思を確認する。満 41 歳を迎えた年度末をもって自動的に退会する。

第 2 号議案

若手研休会運営規則変更を議案とする臨時理事会を決議の省略の方法で行う。

3 理事会の決議があったものとみなされた事項を提案した者の氏名

会長 杉浦紳之

4 理事会の決議があったものとみなされた日

2023 年 8 月 15 日

理事の全員（12 名）の同意書及び監事の全員（2 名）の確認書は別添のとおり。

なお、提案した事項について特別の利害関係を有する理事はいなかった。

5 理事会議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

会長 杉浦紳之

2023 年 8 月 15 日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ㊟

監事 石川 徹夫 ㊟

監事 菅井 研自 ㊟

一般社団法人日本保健物理学会
第 29 回臨時理事会議事録

2023 年 8 月 31 日、佐々木道也副会長が、理事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について下記の内容の提案書を、また、監事の全員に対して当該提案に対する異議の有無の確認依頼書を発したところ、当該提案につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を得るとともに、監事の全員から書面により異議を述べない旨の回答を得た。

これにより、定款 39 条に基づく理事会の決議の省略により当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

記

- 1 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第 1 号議案 第 25 回福島ダイアログの協賛の件
- 2 議案の概要
第 1 号議案
NPO 法人福島ダイアログから依頼された第 25 回福島ダイアログの協賛
- 3 理事会の決議があったものとみなされた事項を提案した者の氏名
副会長 佐々木道也
- 4 理事会の決議があったものとみなされた日
2023 年 9 月 5 日
なお、提案した事項について特別の利害関係を有する理事はいなかった。
- 5 理事会議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
理事 橋本 周

2023 年 9 月 5 日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ㊟
監事 石川 徹夫 ㊟
監事 菅井 研自 ㊟

一般社団法人 日本保健物理学会
第 30 回臨時理事会議事録

- 日 時 : 2023 年 10 月 6 日(金) 15:00~17:05
- 場 所 : 日本保健物理学会事務局及びオンライン会議
- 出席者 : 杉浦紳之代表理事、佐々木道也理事、赤羽恵一理事、橋本周理事、秋吉優史
理事、伊藤照生理事、榎本敦理事、小野孝二理事、川浦稚代理事、細田正洋
理事、松本真之介理事
石川徹夫監事、菅井研自監事
- 資 料 : 資料 1 福島第一原子力発電所事故後の Public Understanding (科学の
公衆理解) の取り組みに関する専門研究会活動報告書 最終版
- 資料 2-1 2023 年度第 2 回編集委員会議事次第
- 資料 2-2 投稿の手引き改訂案
- 資料 2-3 編集委員会 覚書(2023.7 版)
- 資料 3 第 56 回研究発表会&ICRP2023 準備状況について
- 資料 4 中国放射線防護学会年次大会への参加と 3 か国連携プログラムの更新
- 資料 5-1 第 14 回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会連携協力 WG 議事録
- 資料 5-2 教育動画資料等の公開に関する規則
- 資料 6 「第 61 回アイソトープ・放射線研究発表会」への参画について
- 資料 7-1 第 27 回臨時理事会議事録
- 資料 7-2 第 28 回臨時理事会議事録
- 資料 7-3 第 29 回臨時理事会議事録
- 資料 8 入退会等リスト

理事総数 12 名中、11 名の理事が参加しており、定款第 37 条に定める定足数を満たしていた。また、監事 2 名が出席した。

定款第 36 条に基づき、杉浦紳之会長が議長に当たった。

○ 各委員会からの活動報告

標記の議題について、資料に基づき各委員会委員長から活動報告があった。

1) 企画委員会

資料 1 について榎本敦理事から確認依頼があった。また、合同大会等の検討状況について説明があった。

2) 編集委員会

資料 2-1 に基づき細田正洋理事から、活動状況について説明があった。1F 事故関連記事検討 WG による保健物理誌及び JRPR 誌への解説記事の投稿が完了したことを確認し、同 WG は 12 月に解散することを、全会一致で承認した。資料 2-2、2-3 に基づき、投稿手引と覚書の改訂について説明があった。

3) 国際対応委員会

口頭で佐々木道也理事から、活動状況について説明があった。

4) 放射線防護標準化委員会

口頭で橋本周理事から、活動状況について説明があった。

5) コミュニケーション委員会

口頭で川浦稚代理事、松本真之介理事から、HP の運営等の検討状況について説明があった。論文紹介グループに成田真人会員及び堀田昇吾会員を追加することについて、全会一致で承認した。

6) 倫理委員会

口頭で赤羽恵一理事から、倫理規定、倫理規則の承認の必要性及び規定類の改訂について説明があった。

7) 若手研究会

口頭で松本真之介理事から、活動予定について説明があった。

8) 学友会

口頭で細田正洋理事から、活動状況について説明があった。

9) 教員等協議会

口頭で細田正洋理事から、活動方針について意見交換を行った。

10) 中長期計画継承委員会

口頭で伊藤照生理事から、活動方針について意見交換を行った。

○ 第 56 回研究発表会と ICRP Symposium 2023 の準備状況について

表記の議題について、資料 3 に基づき佐々木道也理事から報告があった。常設委員会はポスター掲示を行うことを確認した。会期中の次回理事会開催を調整することとした。

○ 中国放射線防護学会年次大会報告

表記の議題について、資料 4 に基づき佐々木道也理事から報告があった。3 か国連携プログラムを更新したことが報告された。

○ 2 学会連携協力 WG 報告

表記の議題について、資料 5-1、5-2 に基づき秋吉優史理事より説明があった。来年度の研究発表会は、以下のとおり合同大会として開催することを、全会一致で承認した。

日程：2024年12月16日～18日

会場：大阪大学吹田キャンパスコンベンションセンター

○ 第61回アイソトープ・放射線研究発表会について

表記の議題について、資料6に基づき議長から説明があった。協賛を行うことを、全会一致で承認した。なお、運営委員には秋吉優史理事を派遣することとした。

○ 入退会について

7月以降の入退会について、事務局から報告があった。

○ 学会推薦について

放射線影響功績賞の学会推薦について、議長から報告があった。

以上をもって議案の審議を終了し、議長は閉会した。

上記の決議を明確にするために、代表理事及び監事は次に記名押印する。

2023年10月7日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ⑩

監事 石川 徹夫 ⑩

監事 菅井 研自 ⑩

本議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

常務理事 橋本 周

一般社団法人 日本保健物理学会
第 38 回通常理事会議事録

- 日 時 : 2023 年 11 月 9 日(木) 12:40~13:25
場 所 : グランドニッコー東京 台場 29 階 眺及びオンライン会議
出席者 : 杉浦紳之代表理事、佐々木道也理事、赤羽恵一理事、橋本周理事、秋吉優史
理事、伊藤照生理事、榎本敦理事、小野孝二理事、川浦稚代理事、松本真之
介理事、向田直樹理事
石川徹夫監事、菅井研自監事
飯本武志参与、五十嵐悠参与
日本保健物理学会事務局 副島邦洋
- 資 料 : 資料 1 第 38 回通常理事会の開催について
資料 2 第 30 回臨時理事会議事録
資料 3 第 41 回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会
協賛名義使用許可のお願いの件
資料 4 「第 32 回放射線利用総合シンポジウム」協賛のお願い

理事総数 12 名中、11 名の理事が参加しており、定款第 37 条に定める定足数を満たしていた。また、監事 2 名、参与 2 名及び学会事務局が出席していた。

定款第 36 条に基づき、杉浦紳之会長が議長に当たった。

○ シンポジウム等の協賛について

標記の議題について、資料 3 及び資料 4 に基づき議長から説明があり、それぞれ協賛を行うことを、全会一致で承認した。

○ 業務執行状況報告について

定款第 25 条第 5 項に基づき、表記の議題について会長及び執行理事から報告があった。杉浦紳之代表理事から、口頭で、これまでの職務執行、9 月の中国放射線防護協会 (CSRP) への参加と中国、韓国、日本の 3 か国連携プログラムの更新、IRPA16 の準備、(一社) 日本放射線看護学会などの関連学会との連携検討について、それぞれ報告があった。

佐々木道也理事から、口頭で、2 月の AOCRP 6 について AOARP からの拠出金及び Proceedings の費用と著作権の課題、第 56 回研究発表会大会長として参加状況について、それぞれ報告があった。

橋本周理事から、口頭で、理事会名簿の学会 HP (日・英) 掲載、理事会議事録の作成について報告があった。

赤羽恵一理事から、口頭で、学会支出の明細確認、定款等の課題について報告があった。課題と運用について確認した。

松本真之介理事から、口頭で、若手研究会の活動、YGN ワークショップの状況についての報告、及び常設委員会の HP について提案があった。

榎本敦理事から、口頭で、若手研究会、学友会、大学等教員協議会の意見交換会、及び大学の研究室紹介の提案があった。この提案を受けて、佐々木道也理事から、学会 HP の英語ページの更新についても提案があった。

向田直樹理事から、口頭で、電気事業会や協力企業からの学会参加を働きかける提案があった。

川浦稚代理事から、口頭で、学会広報活動について報告があった。

伊藤照生理事から、口頭で、学会連携活動について報告があった。

小野孝二理事から、口頭で、学会連携活動について報告があった。

秋吉優史理事から、口頭で、次回研究発表会大会長として報告があった。大会運営の引継ぎについて確認した。

以上をもって議案の審議を終了し、議長は閉会した。

上記の決議を明確にするために、代表理事及び監事は次に記名押印する。

2023 年 11 月 9 日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ⑩

監事 石川 徹夫 ⑩

監事 菅井 研自 ⑩

本議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

常務理事 橋本 周

一般社団法人日本保健物理学会
第 31 回臨時理事会議事録

2023 年 11 月 20 日、佐々木道也副会長が、理事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について下記の内容の提案書を、また、監事の全員に対して当該提案に対する異議の有無の確認依頼書を発したところ、当該提案につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を得るとともに、監事の全員から書面により異議を述べない旨の回答を得た。

これにより、定款 39 条に基づく理事会の決議の省略により当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

記

- 1 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第 1 号議案 学会賞選考委員会委員の件
- 2 議案の概要
第 1 号議案
学会賞選考委員会委員の承認
- 3 理事会の決議があったものとみなされた事項を提案した者の氏名
副会長 佐々木道也
- 4 理事会の決議があったものとみなされた日
2023 年 12 月 7 日
なお、提案した事項について特別の利害関係を有する理事はいなかった。
- 5 理事会議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
理事 橋本 周

2023 年 12 月 7 日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ㊟
監事 石川 徹夫 ㊟
監事 菅井 研自 ㊟

一般社団法人日本保健物理学会
第 32 回臨時理事会議事録

2023 年 12 月 25 日、杉浦紳之会長が、理事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について下記の内容の提案書を、また、監事の全員に対して当該提案に対する異議の有無の確認依頼書を発したところ、当該提案につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を得るとともに、監事の全員から書面により異議を述べない旨の回答を得た。

これにより、定款 39 条に基づく理事会の決議の省略により当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

記

1 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第 1 号議案 後援依頼の件

2 議案の概要

第 1 号議案

日本放射線影響学会第 67 回大会及び第 12 回放射線事故・災害医学会の合同大会の後援

3 理事会の決議があったものとみなされた事項を提案した者の氏名

会長 杉浦紳之

4 理事会の決議があったものとみなされた日

2023 年 12 月 27 日

理事の全員（12 名）の同意書及び監事の全員（2 名）の確認書は別添のとおり。

なお、提案した事項について特別の利害関係を有する理事はいなかった。

5 理事会議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

理事 橋本 周

2023 年 12 月 27 日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ㊟

監事 石川 徹夫 ㊟

監事 菅井 研自 ㊟

一般社団法人日本保健物理学会
第 33 回臨時理事会議事録

2024 年 1 月 10 日、杉浦紳之会長が、理事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について下記の内容の提案書を、また、監事の全員に対して当該提案に対する異議の有無の確認依頼書を発したところ、当該提案につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を得るとともに、監事の全員から書面により異議を述べない旨の回答を得た。

これにより、定款 39 条に基づく理事会の決議の省略により当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

記

- 1 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第 1 号議案 後援依頼の件
- 2 議案の概要
第 1 号議案
放射線の生体影響と利用に関する国際会議の後援
- 3 理事会の決議があったものとみなされた事項を提案した者の氏名
会長 杉浦紳之
- 4 理事会の決議があったものとみなされた日
2024 年 1 月 16 日
理事の全員（12 名）の同意書及び監事の全員（2 名）の確認書は別添のとおり。
なお、提案した事項について特別の利害関係を有する理事はいなかった。
- 5 理事会議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
理事 橋本 周

2024 年 1 月 16 日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ㊟

監事 石川 徹夫 ㊟

監事 菅井 研自 ㊟

一般社団法人日本保健物理学会
第 34 回臨時理事会議事録

2024 年 1 月 17 日、佐々木道也副会長が、理事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について下記の内容の提案書を、また、監事の全員に対して当該提案に対する異議の有無の確認依頼書を発したところ、当該提案につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を得るとともに、監事の全員から書面により異議を述べない旨の回答を得た。

これにより、定款 39 条に基づく理事会の決議の省略により当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

記

- 1 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第 1 号議案 IRPA 16 YOUNG PROFESSIONAL AWARD への学会推薦の件
- 2 議案の概要
第 1 号議案
IRPA 16 YOUNG PROFESSIONAL AWARD について、応募があった木村建貴会員を学会推薦とする
- 3 理事会の決議があったものとみなされた事項を提案した者の氏名
会長 杉浦紳之
- 4 理事会の決議があったものとみなされた日
2024 年 1 月 18 日
なお、提案した事項について特別の利害関係を有する理事はいなかった。
- 5 理事会議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
理事 橋本 周

2024 年 1 月 18 日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ㊟

監事 石川 徹夫 ㊟

監事 菅井 研自 ㊟

一般社団法人 日本保健物理学会
第 35 回臨時理事会議事録

- 日 時 : 2024 年 1 月 30 日 (火) 15 : 00 ~ 16 : 55
- 場 所 : オンライン会議 (Zoom)
- 出席者 : 杉浦紳之代表理事、佐々木道也理事、赤羽恵一理事、橋本周理事、秋吉優史
理事、伊藤照生理事、榎本敦理事、小野孝二理事、川浦稚代理事、細田正洋
理事、松本真之介理事、向田直樹理事
石川徹夫監事、菅井研自監事
五十嵐悠参与、河野恭彦参与
日本保健物理学会事務局 副島邦洋
- 資 料 : 資料 1-1 日本保健物理学会第 56 回研究発表会実施報告
資料 1-2 日本保健物理学会第 56 回研究発表会収支
資料 2 日本保健物理学会臨時委員会の設置について(案)
資料 3 関連学会との連携強化・推進
資料 4 専門研究会
資料 5 日本保健物理学会 2023 年度第 3 回編集委員会議事録
資料 6 放射線防護標準化委員会活動概況
資料 7-1 エックス線安全取扱教育講習協賛のお願い
資料 7-2 第 15 回核融合エネルギー連合講演会協賛のお願い

理事総数 12 名中、12 名の理事が参加しており、定款第 37 条に定める定足数を満たしていた。また、監事 2 名、参与 1 名及び学会事務局が出席していた。

定款第 36 条に基づき、杉浦紳之会長が議長に当たった。

○ 第 56 回研究発表会

標記の議題について資料 1-1、1-2 に基づき佐々木副会長から報告があった。

○ 理事会の活動について

小野孝二理事から医療被ばく国民線量評価委員会の活動について報告があった。

議長から被ばくのカテゴリーと被ばく状況に関する検討委員会の活動について報告があった。

伊藤照生理事から中長期計画継承委員会の活動について報告があった。

資料 2 に基づき佐々木道也副会長から臨時委員会として放射線関連量の課題に関する検討委員会の設置について提案があり、全会一致で承認した。

秋吉優史理事から 2 学会連携協力WGの活動について報告があった。

○ 関連学会との連携強化・推進

標記の議題について資料3に基づき議長から報告があった。

- ・(一社)日本放射線安全管理学会との連携の在り方について引き続き検討することとした。
- ・(一社)日本放射線影響学会については、年次大会でのシンポジウムで登壇予定。
- ・(一社)日本放射線看護学会については、同学会員の行事参加は本会正会員と同じ参加費での参加できることが提案され、全会一致で承認した。

標記の議題について小野孝二理事から J-RIME の報告があった。

標記の議題について佐々木副会長から IRPA 及び CKJ の報告があった。

標記の議題について河野恭彦参与から IRPA YNG の報告があった。

○ 常設委員会等

資料4に基づき榎本敦理事から新規専門研究会の申請等企画委員会の活動について報告があった。

資料5に基づき細田正洋理事から編集委員会、大学等教員協議会及び学友会の活動について報告があった。

佐々木副会長から国際対応委員会及び学会賞選考委員会の活動について報告があった。

資料6に基づき橋本周理事から放射線防護標準化委員会の活動について報告があった。

川浦稚代理事からコミュニケーション委員会の活動について報告があった。

赤羽恵一理事から倫理委員会の活動について報告があった。

松本真之介理事から若手研究会の活動について報告があった。

○ 2024年度事業計画及び予算案の策定について

各理事で担当分の案を作成することとした。

○ その他

事務局から以下の2件の協賛依頼について事務局から報告があり、それぞれ全会一致で承認した。

- ・エックス線安全取扱教育講習（主催：(一社)日本非破壊検査工業会）
- ・第15回核融合エネルギー連合講演会（主催：(一社)プラズマ・核融合学会、(一社)日本原子力学会）

以上をもって議案の審議を終了し、議長は閉会した。

上記の決議を明確にするために、代表理事及び監事は次に記名押印する。

2024年1月30日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ⑩

監事 石川 徹夫 ⑩

監事 菅井 研自 ⑩

本議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

常務理事 橋本 周

一般社団法人日本保健物理学会
第 36 回臨時理事会議事録

2024 年 2 月 5 日、杉浦紳之会長が、理事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について下記の内容の提案書を、また、監事の全員に対して当該提案に対する異議の有無の確認依頼書を発したところ、当該提案につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を得るとともに、監事の全員から書面により異議を述べない旨の回答を得た。

これにより、定款 39 条に基づく理事会の決議の省略により当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

記

- 1 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第 1 号議案 講演依頼の件
- 2 議案の概要
第 1 号議案
(一社) 日本放射線看護学会第 13 回学術集会の後援
- 3 理事会の決議があったものとみなされた事項を提案した者の氏名
会長 杉浦紳之
- 4 理事会の決議があったものとみなされた日
2024 年 2 月 14 日
なお、提案した事項について特別の利害関係を有する理事はいなかった。
- 5 理事会議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
理事 橋本 周

2024 年 2 月 14 日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ㊟
監事 石川 徹夫 ㊟
監事 菅井 研自 ㊟

一般社団法人日本保健物理学会
第 37 回臨時理事会議事録

2024 年 3 月 1 日、杉浦紳之会長が、理事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について下記の内容の提案書を、また、監事の全員に対して当該提案に対する異議の有無の確認依頼書を発したところ、当該提案につき、理事の全員から書面により同意の意思表示を得るとともに、監事の全員から書面により異議を述べない旨の回答を得た。

これにより、定款 39 条に基づく理事会の決議の省略により当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

記

- 1 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第 1 号議案 後援依頼の件
- 2 議案の概要
第 1 号議案
文部科学省情報ひろばにおける広報企画展示の後援
- 3 理事会の決議があったものとみなされた事項を提案した者の氏名
会長 杉浦紳之
- 4 理事会の決議があったものとみなされた日
2024 年 3 月 4 日
なお、提案した事項について特別の利害関係を有する理事はいなかった。
- 5 理事会議事録の作成に係る職務を行った者の氏名
理事 橋本 周

2024 年 3 月 4 日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ㊟
監事 石川 徹夫 ㊟
監事 菅井 研自 ㊟

一般社団法人 日本保健物理学会
第 39 回通常理事会議事録

日 時 : 2024 年 3 月 19 日 (火) 15 : 00 ~ 16 : 50
場 所 : オンライン会議 (Zoom)
出席者 : 杉浦紳之代表理事、佐々木道也理事、赤羽恵一理事、橋本周理事、秋吉優史
理事、伊藤照生理事、榎本敦理事、小野孝二理事、川浦稚代理事、細田正洋
理事、松本真之介理事、向田直樹理事
石川徹夫監事
五十嵐悠参与、河野恭彦参与
日本保健物理学会事務局 副島邦洋
資 料 : 資料 1 一般社団法人日本保健物理学会 2024 年度事業計画書 (案)

理事総数 12 名中、12 名の理事が参加しており、定款第 37 条に定める定足数を満たして
いた。また、監事 2 名、参与 1 名及び学会事務局が出席していた。

定款第 36 条に基づき、杉浦紳之会長が議長に当たった。

○ 2024 年度事業計画書

標記の議題について資料 1 に基づき議長から説明があり、提出がない箇所については改
めて担当理事に依頼することとし、加筆・修正等が必要な箇所も含め議長が取りまとめる
ことで、全会一致で承認した。

○ 2024 年度収支予算

標記の議題について赤羽恵一常務理事から説明があった。IRPA から依頼のあったモン
トリオール基金等予算を追加した上で、全会一致で承認した。

○ 定款・規定等の改定

標記の議題について議長から説明があった。理事の定員については検討の結果、継続審
議とした。

○ モントリオール基金

標記の議題について議長から説明があり、来年度予算から拠出することが全会一致で承
認した。

○ 第 5 回合同大会における展示ブース出展企業

標記の議題について秋吉優史理事から説明があり、投資を呼びかけるような展示ブース

の出展は大会の趣旨にそぐわないとして見送ることとした。

IRPA16 旅費支援について

標記の議題について佐々木道也副会長から学会賞選考委員会において、IRPA16 の旅費支援に応募があった中から木村建貴会員及び田岡愛弥会員の2名を選出したことが報告され、全会一致で了承した。

○ 共催の承認

表記の議題について事務局から報告があり、日本エアロゾル学会主催の第41回エアロゾル科学・技術研究討論会共催について全会一致で承認した。

○ 社員総会に向けた今後のスケジュールについて

表記の議題について議長から提案があり、3回の理事会を開催し5月の理事会において定款・規程等の改定を取りまとめ、6月の理事会において総会準備を行うことと了承した。

○ その他

総会及びシンポジウムの日時について、(一社)日本放射線管理学会の総会日程を踏まえ調整することとした。

川浦稚代理事から学会ホームページの利用アンケートについて提案があり、実施方法を確認した。

議長から日本放射線研究連合への参画について説明があり、検討の結果、見送ることを全会一致で了承した。

以上をもって議案の審議を終了し、議長は閉会した。

上記の決議を明確にするために、代表理事及び監事は次に記名押印する。

2024年3月19日

一般社団法人日本保健物理学会

代表理事 杉浦 紳之 ㊟

監事 石川 徹夫 ㊟

監事 菅井 研自 ㊟

本議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

常務理事 橋本 周